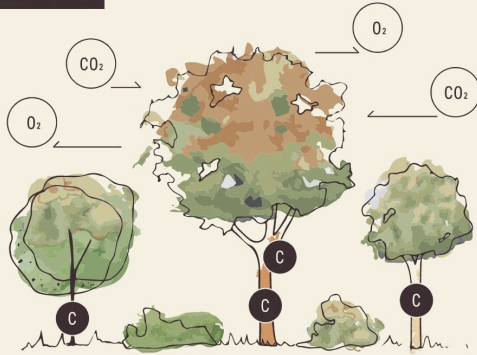


木材の二酸化炭素固定量

現在、深刻な環境問題として取り上げられる地球温暖化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度が上昇することに起因しています。樹木は、その大気中の二酸化炭素を「有機物として固定する」という働きによって大量の炭素を蓄えています。また、樹木は伐採されて、木材や木製品になっても炭素は固定されたままです。

CARBON STORAGE



製品として「木」を利用することは、木材の炭素を長期間にわたって貯蔵することに繋がります（炭素貯蔵=カーボンストック）。さらに木材は他の資材に比べて、製造や加工時に要するエネルギー負荷が小さく、二酸化炭素の排出量を抑制される、まさに「カーボンニュートラル」（温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる）な素材と言えます。



ヒノキの苗木とプラス・ビオトープのチェア（ヒノキのサーモウッド）

プラス・ビオトープでは、二酸化炭素固定量 (kg-CO₂) をわかりやすく、より身近なものとするため、各製品ごとに「見える化」(表記) しています。※プラス・ビオトープの製品は「とうきょう森づくり貢献認証制度」により東京都に認証されています。

【例】各製品の詳細下部に
右の表記がございます。

二酸化炭素固定量 (kg-CO₂) | 12.34

今後、売り上げの一部を「ヒノキの苗木」として寄付し、再造林や自然再生の支援を進める予定です。プラス・ビオトープの家具を使うことで環境保全に貢献し、都市と森林を結びつけます。

KOSHII SUPER THERMO

環境にやさしい「ヒノキのサーモウッド」

プラス・ビオトープで使われる木材は、日本の固有種であるヒノキの コシイ・スーパーサーモ（国産サーモウッド）です。ヒノキは耐腐朽性を備え、強度・耐久性に優れた建材として、神社仏閣などをはじめ、古くから日本で高級木材として愛され続けてきました。

そのヒノキに薬剤を使用せず熱と水蒸気のみ（ノンケミカル）で木材の性質を向上させる「サーモウッド技術」で、さらに高い寸法安定性と耐久性を付与した最高品質の材料、それが「コシイ・スーパーサーモ」です。



コシイ・スーパーサーモは、北欧・フィンランド発祥のサーモウッド技術を、日本の樹種でも使えるように国産材に合わせて改良した、耐久性・寸法安定性を向上させた木材製品です。屋外への木材利用に最適化された、薬品を全く使用しない「環境にやさしい材料」です。現在では、建築物の木質化に最適な材料としてデッキ・フェンス・意匠材として公共施設から住宅まで、幅広く利用されています。

WOOD CHANGE WITH AGE

デザイン性を高めるエイジング（経年変化）

木材の二酸化炭素の固定は長きに渡ることで意味がなされます。一方、木製品は年月と共に愛着が生まれてくると同時に徐々に「木」本来の色に変化し、より一層深みと味わいが出てきます。すなわち大切に扱うからこそ長く使うことができ、二酸化炭素を排出されず貯蔵されたままとなるのです。プラス・ビオトープが、シンプルで飽きの来ない、自然なデザインであることの理由もここにあります。

木材は経年により徐々に色が抜けてきます。これは太陽光に含まれる紫外線によって分解された木材表面の成分が雨によって流れ出すために起こりますが、木材自体の性能は保たれます。木材の色変化は自然のものであり、そのエイジング（経年変化）もデザインの一つとして楽しむことができます。



プラス・ビオトープのテーブル&ベンチ、経年変化 前後のイメージ
光の当たり方によりイメージ(色)は異なります

時間の経過とともに木目の表情も味わい深くなり、色味も変化していきます。天然素材ならではの、風格と気品を備えたエイジングも楽しむことができるプラス・ビオトープの木製家具をお楽しみください。

※サーモウッドはメンテナンスをすることで、納品時に近い状態に戻すことも可能です。
お取扱いについて、詳しくは購入の際、製品付属の取扱説明書をご覧ください。
※本カタログ内に含まれる「グレー」の製品は経年変化後のイメージになります。